

# 長門の話題

## Topics



地域で魅力的な景観を守る

### オソト清掃活動を実施

5月12日(火)、長門湯本温泉街でオソト清掃活動が実施されました。

音信川沿いのせせらぎを楽しめる川テラスや遊歩道、四季を楽しめるランドスケープなど、「オソト」でそぞろ歩きを楽しめる温泉街とすることを目指し、地域住民ら約20人が参加しました。温泉街の整備事業を施工した市内の造

園業者から、参加者に対して注意点の説明が行われた後、竹林の階段や恩湯広場などを丁寧に清掃しました。

オソト活用協議会の白石慎一さんは「アドバイスを受けながら魅力ある景観を保つためにみんなで頑張っていた」と語りました。今後、整備事業者から定期的に指導を受ける予定です。

今年の甘夏は果汁がいっぱい

### 三隅で甘夏直売会が開催

4月25日(土)、三隅地区の旧JA豊原生活センターで、甘夏の直売会が行われました。

三隅地区は古くから柑橘の栽培が盛んで、農家数が減少した今でも年に1度、直売会が実施されています。この日、朝早くから地元の人々が訪れて、袋入りの甘夏を両手に提げて帰る姿が見られました。



▲小島や野波瀬、豊原、中小野地区で栽培



▲竹林の階段などを重点的に清掃



▲樹木や花に対する剪定、水やりなどの指導が行われた

### 令和2年度清風祭

### 村田清風の遺徳を偲ぶ

4月26日(日)、村田清風記念館横の清風神社で、清風祭が行われました。

この日、村田清風顕彰会の役員と会員ら13人が参列。三隅八幡宮の古屋正次宮司が祝詞を奏上し、その後、参列者が順に玉ぐしを捧げ、清風の功績をたたえました。



▲清風の誕生日に合わせての開催



# 新型コロナウイルス感染症 に対する

## 長門の取組



▲長門料飲組合が「飯友ながと」・「つかわんとい券」など取組を実施



▲5/1(金)、長門市デリバリー・テイクアウト応援プロジェクトが始動



▲5/7(木)、長門青年会議所が深川小学校を訪問



▲5/8(金)、棚田産ハーブを使用したアルコール消毒液を寄贈

新型コロナウイルス感染症による影響で、経済が大きく落ち込むなか、この危機を乗り越えようと市内ではさまざまな取組が見られました。

4月28日(火)、長門料飲組合では市内飲食店が一致団結して、市内58店舗が掲載されたテイクアウトマップ「#飯友ながと」を作成。各家庭に折り込みチラシとして配布し、プロの味を家庭で楽しんでほしいと呼びかけました。また、長門料飲組合と大津西旅料飲組合が、加盟全店で使用でき

る「つかわんとい券」を7,000枚発行し、そのうちの4,800枚を建設業協会などが購入するなど業種を越えた協力が行われています。

5月1日(金)、「長門市デリバリー・テイクアウト応援プロジェクト」がスタートしました。毎週火・金曜日に、デリバリーやテイクアウトを積極的に利用することにより、市職員が率先して市内飲食店を応援し、市をあげて「助け合い」の機運の醸成を図ることを目的としています。市内

事業所などにプロジェクトへの参加を呼びかけています。

5月7日(木)、長門青年会議所が深川小学校に手づくりマスクと簡単なマスクのつくり方の説明書を寄付しました。

キッチンペーパーと両面テープ、ワイヤーリボンと柔らかい紐で作成できるもので、深川小学校には500枚を寄付しました。長門青年会議所の川上英宏理事長は「自分たちの身を自分たちで守り、学校が始まったら楽しく安全に生活を送ってもらえたら」と思いを

語りました。

5月8日(金)、油谷小学校で棚田産ハーブで作られたアルコール消毒液が贈呈されました。これは、棚田で育てたハーブを使用したジンを製造する油谷伊上出身の西村一彦さんが、新型コロナウイルス感染症で消毒液が不足していることなどを受けて、ジンのアルコール度数を高めた消毒液を寄贈したものです。このアルコール消毒液は、油谷地区の小中学校のほか保育園などに計60本寄贈されました。